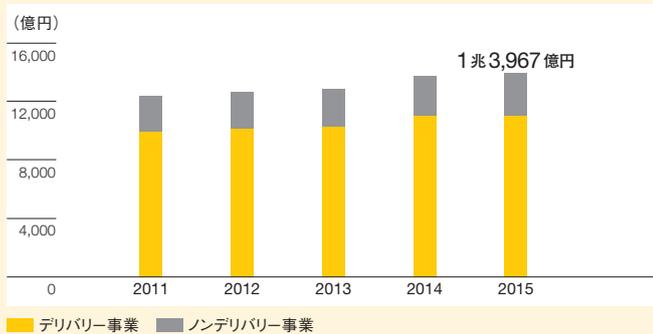


パフォーマンスハイライト

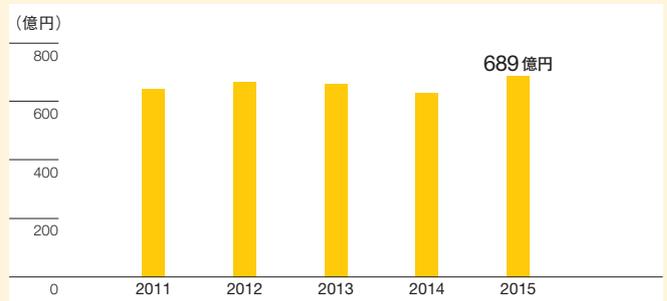
各年3月に終了した期

営業収益



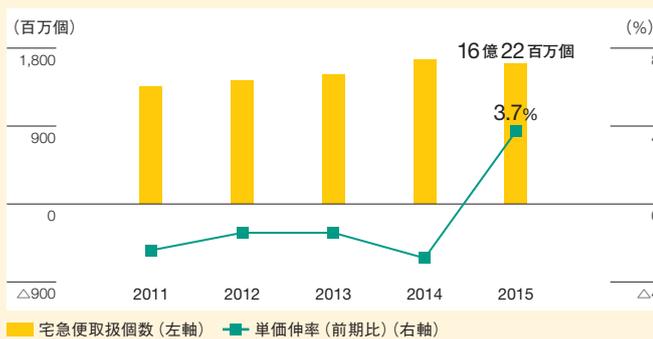
デリバリー事業の適正料金収受施策の推進などにより宅急便単価が改善したほか、BIZ-ロジ事業を中心としたノンデリバリー事業の堅調な推移により、前期比1.6%増の1兆3,967億円となりました。

営業利益



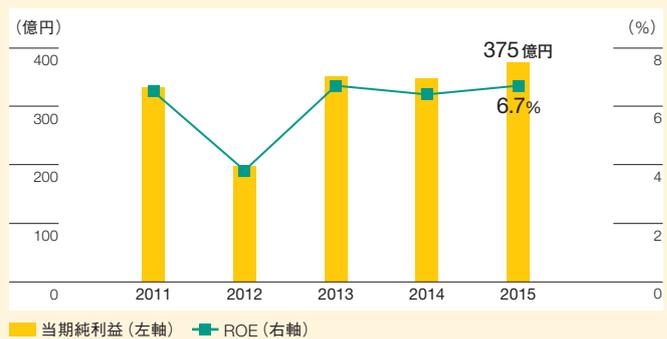
業務量に合わせた最適な集配稼働の設計や、輸送体制の構築などによるコスト管理の徹底に努めたほか、生産性の向上に取り組んだ結果、前期比9.3%増の68.9億円となり、過去最高益を達成しました。

宅急便取扱個数／単価伸率(前期比)



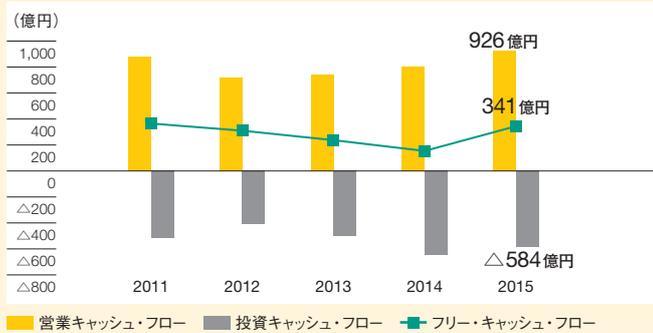
個人消費の停滞や消費税増税前の駆け込み需要の影響等により、宅急便取扱個数は前期比2.6%減の16億22百万個となり、宅急便単価は適正料金収受の交渉が着実に進展し、前期比3.7%増となりました。

当期純利益／ROE



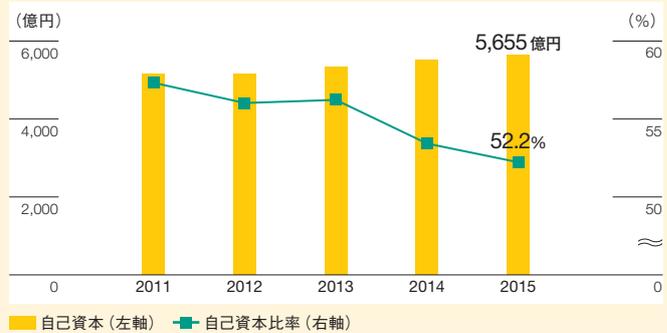
当期純利益は前期比7.9%増の37.5億円となりました。これに伴い、ROEについても前期比0.3ポイント上昇し、6.7%となりました。

営業キャッシュ・フロー／投資キャッシュ・フロー／フリー・キャッシュ・フロー*



利益拡大により営業キャッシュ・フローが前期比約125億円増加し、投資キャッシュ・フローが前期比約64億円減少したことなどにより、フリー・キャッシュ・フローは前期比約190億円の増加となりました。

自己資本／自己資本比率



自己資本は、前期比2.6%増の565.5億円となりましたが、総資産も前期比4.9%増の1兆825億円と増加したことにより、自己資本比率は前期比1.2ポイント減の52.2%となりました。